

赤十字ほっかいどう

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。

2017
12月号



「自助」・「共助」の力を地域へ

赤十字奉仕団基礎研修会が札幌市で開催されました。
今年から研修プログラムに「災害図上訓練 (DIG)」を
取り入れ、地元の地図を使い防災マップ作りを行いました。

CONTENTS

北海道支部創立130周年記念赤十字大会 …2

炊出し授業で非常食を調理 ……………3

「自らを守る」・「共に助け合う」力を地域へ …4

あの日を忘れない!! ……………5

大規模災害に備えるために ……………6

わがまちの赤十字奉仕団 ……………7

日本赤十字社北海道支部 創立130周年記念赤十字大会 開催

8月9日（水）、旭川市民文化会館を会場に日本赤十字社北海道支部創立130周年記念赤十字大会を開催しました。本大会は、明治20年に北海道支部が創立されて本年で130年を迎えることから、記念大会として行われたもので、およそ1,000人の赤十字関係者が参加し、盛大に執り行われました。

式典に先立ち、伊達・浦河赤十字看護専門学校の学生によるキャンドルサービスで赤十字物故者慰霊祭が行われ、亡くなられた赤十字関係者の御冥福を祈りました。

式典では、近衛忠輝 社長より社資功労者に贈られる有功章（金色、銀色）等が贈呈されました。

この他、旭川赤十字病院 森川秋月 副院長による「健康長寿のために」の講演、陸上自衛隊第2音楽隊による演奏も行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。



伊藤支部長による式辞



物故者慰霊祭



近衛社長より有功章贈呈



旭川赤十字病院 森川副院長による講演



陸上自衛隊 第2音楽隊による演奏

炊出し授業で非常食を調理

～防災の日 北海道防災総合訓練～

9月1日（金）、「防災の日」に札幌市内で「北海道防災総合訓練」が行われました。北海道支部は、会場となった札幌市立北郷小学校で6年生を対象に非常用炊飯袋を使った炊出しの授業を担当し、子どもたちに蒸しパンとうどん作りを体験してもらいました。

非常用炊飯袋に材料を入れ、沸騰した鍋で煮ることおよそ15分、出来上がった料理を食べた子どもたちからは、「おいしい」や「想像以上に上手く出来た」と楽しく災害時の備えについて学んでもらうことが出来ました。



楽しく作ることができました

AED使えますか？

～DCMホームマック 防災フェア～

9月3日（日）、DCMホームマック東雁来店 駐車場特設会場で、「DCMホームマック 防災フェア」が開催されました。

北海道支部では、AED体験コーナーを担当し、来場した皆さんに心肺蘇生法とAEDの使い方を実際に体験してもらいました。

イベント当日は、天気にも恵まれ消防によるはしご車の体験搭乗や煙道体験、北海道開発局による災害対策用機械の展示などが行われ、多くの来場者で賑わいました。

AED体験コーナーは、幅広い年齢層の多くの皆さんに体験をしてもらうとともに救急法を知ってもらう良いきっかけとなりました。



多くの来場者で賑わいました

正しい姿勢で健康体づくり

～一緒に歩こうノルディックウォーキング～

9月12日（火）、北海道支部を会場に「平成29年度 赤十字健康増進セミナー ～一緒に歩こうノルディックウォーキング～」を開催し、総勢30名の皆さんに参加いただきました。

セミナーでは、支部職員が健康生活支援講習の内容から認知症についての講義を行ったあと、北海道ノルディックウォーキング赤十字奉仕団によるポールを使ったストレッチや歩き方について学びました。

当日は、あいにくの雨模様のため、室内でのノルディックウォーキングの実技となりましたが、参加者からは「ストレッチの効果が良く分かった」や「家に帰ってから実践したい」など感想をいただき、改めて体を動かす大事さを確認した一日となりました。



ポールを使ったストレッチ

「自らを守る」・「共に助け合う」力を地域へ

過去の大きな災害を通して、明らかになったことの一つとして、災害の規模が大きくなるほど公的機関などの支援で救える命には限りがあるということでした。

混乱が続く発災直後など、支援が行き届きにくい時期に重要な役割を果たしたのは、自分自身や家族、地域コミュニティなどいわゆる「自助」・「共助」の力です。

日本赤十字社は、この「自助」・「共助」の力を高め、災害による被害をできるだけ少なくする「減災」のために本年度より防災教育事業を全国的に展開しています。

北海道支部ではこの事業の内容の一部を赤十字奉仕団基礎研修会・中級研修会に取り入れ、参加した奉仕団の皆さんがそれぞれの地域に戻られ、防災について考える際の一助となるよう展開しています。

ここでは、内容の一部である「災害図上訓練（DIG）」・「災害エスノグラフィー」について紹介します。

災害図上訓練（DIG）

（DIG：Disaster Imagination Game）

グループで参加者の住む地域の地図をもとに防災マップを作ります。地図作りを通して住む地域で災害時に有益なもの、危険なところなど、グループ内で話し合いながら確認します。

さらに、災害が起こると地域がどうなるか？どうすれば被害を小さくできるか？を想像しながら、地域の特徴を再確認します。



●参加者の声●

札幌市赤十字奉仕団

藤野分団長 佐藤 悦子 さん

楽しくやることができました。

様々な状況を想像しながら地図作りをするので考える力を育むことができました。

町内会等で行うことが効果的と感じたので地域に戻ったら是非、広めたいです。



災害エスノグラフィー

過去の災害での被災者インタビュー記録を読み、災害時の状況が被災した人たちにどのように映ったか、被災者の目線で追体験をすることで災害という「事実」を内側から理解します。



●参加者の声●

当別町赤十字奉仕団

委員長 須藤 紀久子 さん

読み物を通じて災害をイメージすることが出来ました。

災害の少ない地域に住んでいるので今まで自分で気づけなかったことや改めて再認識できたことなど、大変、いい機会になりました。



水の事故を防ぐ技術を競う

～第36回赤十字水上安全法北海道大会～

9月24日（日）、海や川の事故で溺れた人をいち早く救助するための技術向上を図る競技大会が釧路市で行われました。

大会には、全道各地から参加者ならびに大会関係者など、総勢100名にのぼる水上安全赤十字奉仕団員が集まり、重さ40kgもあるマネキンや溺者役を抱えてのリレーをはじめ、チームでのレスキューなどの競技が行われ、日頃の成果を競いました。

【結 果】

男子の部	優勝	函館市地区水上安全赤十字奉仕団
女子の部	優勝	岩見沢市水上安全赤十字奉仕団
混合の部	優勝	札幌市水上安全赤十字奉仕団
		帯広市水上安全赤十字奉仕団



正確な技術が求められるマネキンリレー

苫小牧市朗読赤十字奉仕団 影浦さん 全国表彰 受賞

9月28日（木）に開催された「第47回朗読録音奉仕者感謝の集い」（公益財団法人 鉄道弘済会、社会福祉法人 日本盲人福祉委員会 主催）にて苫小牧市朗読赤十字奉仕団 影浦泰子さんが全国表彰を受けました。

影浦さんは日赤主催の朗読講習会の参加がきっかけで同奉仕団へ入団、以来、38年近く録音図書作りに貢献してきました。

今回の表彰は、この長岐に渡る実績・技術が認められ優れた朗読奉仕者として表彰されたものです。

「これまで楽しく活動を続けてきました。今回の表彰はご褒美をいただけたようで嬉しいです」と話す、影浦さん。

今後も、視覚障害者のニーズに応えた録音図書作りが期待されます。



苫小牧市朗読赤十字奉仕団 影浦 泰子 さん

あの目を忘れない！！

～清水赤十字病院 救護員Tシャツで勤務～

8月30日（水）、清水赤十字病院で医師や看護師ら病院職員70名が、赤い救護員Tシャツを着て業務を行いました。

昨年、台風10号などによる大雨災害に見舞われてからちょうど1年、道内全赤十字病院からの応援を受け、被災者への健康チェックやこころのケア、またリラクゼーションルームを開設し、行政職員へ支援を行うなど、約1ヵ月に及んだ活動や教訓を風化させないため、そして赤十字病院の職員としての自覚を再認識してもらうために救護員Tシャツを着用しました。

藤城貴教 院長は「このTシャツを皆で着る事によって、清水町始まって以来の災害で、初めて受援いただきながら救護活動を行ったこと、いろいろな機関に助けをもらい病院機能を維持できたこと、災害に対して物心両面の備えが大切であることなどを後世に伝えていきたい」と話していました。



医師のミーティングもTシャツを着て実施

大規模災害に備えるために

～道内赤十字病院で訓練を実施～

道内赤十字病院では、大規模災害に備え院内訓練を実施しています。

9月30日（土）、伊達赤十字病院で、有珠山噴火を想定した傷病者受入訓練を職員、伊達市赤十字奉仕団員、消防、警察など約250人の参加のもと実施しました。

今回の訓練では、増加する外国人観光客への対応に備えるため、初めて外国人の被災者を設定し、室蘭工業大学に留学中のインドとベトナムの学生に協力いただきました。

あわせて、青少年赤十字加盟校である北海道伊達高等学校と、近隣の北海道伊達緑丘高等学校から、ボランティアに興味のある学生、看護師志望の学生などが参加し、傷病者の手当てだけでなく、赤十字が行う災害救護活動への理解も深まる機会となりました。

また、10月15日（日）、北見赤十字病院では、大規模列車脱線事故を想定した院内災害対応訓練を実施しました。

医師・看護師・事務等、約90名の参加のもと、傷病者に見立てたマグネット人形を使用した机上訓練を行い、傷病者受け入れの流れや院内災害対策本部との連携を確認しました。

あわせて、院内で設定している※トリアージエリア（黄色）に実際に、簡易ベッドなどの資材を配置し、レイアウトや必要物品等の再確認を行いました。



傷病者役に症状を聞く病院スタッフ
(伊達赤十字病院)



院内災害対策本部 運営の様子
(北見赤十字病院)

※トリアージ 傷病者の重症度、緊急度などによって分類し、治療や搬送の優先順位を決めること
重症度・緊急度により赤・黄・緑・黒に色分けされる。

看護師の夢、また一步

～赤十字看護専門学校で戴帽式～

浦河赤十字看護専門学校（10月20日）並びに伊達赤十字看護専門学校（11月2日）にて戴帽式が行われました。

戴帽式は、半年間の基礎学習を終えた1年生が、本格的に始まる実習を前に行われる節目の大切な行事で伊達20名、浦河22名の学生がナースキャップを戴帽されました。

これから学生たちは、各病院で臨床実習に励み、看護師へと新たな一步を大きく踏み出します。



キャンドルの灯火に夢をこめて

わがまちの赤十字奉仕団

～美幌町赤十字奉仕団～

地域に根ざした活動をしている赤十字奉仕団の取り組みをご紹介します。

美幌町赤十字奉仕団は、平成9年6月結団し、今年で創立20周年を迎えました。

5月に執り行われた奉仕団結成20周年式典・講演会では、“今、奉仕団に求められること”という演題で日赤北海道支部より講演を頂き、赤十字に対する思いを新たに致したところです。

現在の団員数は、88人で活動しております。

主な活動は、献血推進活動、災害時に備えての炊き出し訓練、募金活動、青少年赤十字に関わる活動、研修活動です。

献血推進活動では、びほろのお祭り会場で、日赤北海道支部マスコット、アンリーちゃんの着ぐるみと一緒にPRをしたり、成人式会場のホールで新成人にアンリーちゃんのストラップと団員手作りのストラップを添えて毎年、献血のPRをしております。

研修活動では、奉仕団独自の炊き出し研修を実施するとともに、オホーツク地区赤十字奉仕団研修会へも参加し、研修後は、団員の皆さんに伝達講習の場を作り共有しております。

わが奉仕団は、赤十字の信条を基に、楽しく活動することをモットーにこれからも奉仕を続けていきたいと思っております。

委員長 田中 淑子



成人式会場でのPR活動



炊き出し研修

たくさんのご協力 ありがとうございました。

～活動資金にご協力いただき、
表彰された方々を紹介します～
(敬称略)(日本赤十字社北海道支部創立130周年記念
赤十字大会受章者含む)

厚生労働大臣感謝状

～社資納入額 個人100万円、法人300万円以上～

【遠 軽 町】 藤原 雅彦 【北海道支部】 葛巻 頤

金色有功章

～社資納入額50万円以上～

【旭 川 市】 関谷 幸照 山内 和夫
大地コンサルタント株式会社
【稚 内 市】 日名美代子
【富 良 野 市】 野嶋 重克
【名 寄 市】 下田梯津夫
【北 見 市】 飯田 初江 飯田 守
【帯 広 市】 (有)土井架設
【札 幌 市】 今西 敬 及川 泉 谷藤美代子
渡邊 孝行 陸上自衛隊真駒内駐屯地 隊員一同
【美 唄 市】 近藤建設株式会社 玉田産業株式会社
【千 歳 市】 (一社)日本血液製剤機構 千歳工場
【恵 庭 市】 上松 禮子 中村ヨシノ
【南 幌 町】 木村 修治
【北海道支部】 児玉真利子 森谷 幸治 山下 裕久
(株)湖池屋 石川 公浩
富士自動車工業株式会社 中島 澄夫
医療法人社団 慈昂会

銀色有功章

～社資納入額20万円以上～

【旭 川 市】 大崎 功雄 小畑嬉久江 楓 タノ
川田 裕二 菅野 淑子 小郷久仁子
水上 朋子 田村 照子 吉田 信子
村木 富子 赤川建設興業(株) (株)佐藤邦雄商店
(株)鈴木工務店 (株)湯浅 中央ハイヤー(株)
【稚 内 市】 金田一京子
【名 寄 市】 竹山 利男 中枝かをる
【富 良 野 市】 齊藤 麻美
【釧 路 市】 東道路(株) (有)あわづ犬猫専門病院 (株)小野寺組
共成電気(株) (株)釧路熱供給会社 宮脇土建(株)
【札 幌 市】 札幌市赤十字奉仕団真駒内分団
【美 唄 市】 加藤 秀司 川西 栄二 ジー・イー機電(株)
【恵 庭 市】 加藤 繁夫 (株)ラルズビックハウス恵庭店
【余 市 町】 北海信用金庫役職員互助会
【北海道支部】 パラマウントベッド(株)
明成メディカル株式会社
アサヒ飲料株式会社 北海道支社

社長感謝状

～金色有功章受賞後さらに50万円以上～

【旭 川 市】 旭川仏教会 (株)高組
【名 寄 市】 (株)西條
【帯 広 市】 相互電業(株) 宮坂建設興業
【北 見 市】 大機理科学(株)
【遠 軽 町】 藤原 雅彦
【札 幌 市】 坂田紀久恵
【美 唄 市】 西尾 令子 吉田 昕子
(株)アインファーマシーズ
【江 別 市】 江別市赤十字奉仕団
【北海道支部】 葛巻 頤 今岡 外吉 賀集 邦弘
中村 裕貴 よつ葉乳業(株) 佐藤 進
医療法人社団旭豊会 旭川三愛病院
医療法人社団進和会 旭川リハビリテーション病院
理事長 進藤 順哉

冬の災害に備えて

～赤十字災害救護訓練～

平成30年1月27日(土)・28日(日)、札幌市立旭小学校を会場に「赤十字災害救護訓練」を実施します。

今回の訓練は、冬季における大規模な地震災害を想定し、冬季の災害救護活動における課題の研究と救護班の災害対応力の強化を図ることを目的としています。

訓練初日の27日(土)は、上記会場で14時から日本赤十字北海道看護大学 根本 昌宏 教授による地域公開講座「冬の災害を生き抜くために～マイナス20℃の避難所検証を踏まえて～」を行います。

講演は、無料で聴講できますので、たくさんの方のご来場をお待ちしております。



前回の赤十字災害救護訓練の様子

全国学生クリスマス献血キャンペーン2017

当キャンペーンは、昭和63年から全国47都道府県の学生献血推進ボランティアが、毎年12月に全国統一の活動として開催しております。

冬期間は、風邪やインフルエンザの流行、また雪害の影響を受けることで献血される方が減少するため、冬場における輸血用血液の安定確保を目的として実施しています。

当日は実施会場にて広く献血の呼びかけを行う他、献血協力者には学生献血推進ボランティアが考案した処遇品をプレゼントします。

北海道内での実施日程・場所は下記の通りです。



皆様のご協力を宜しく申し上げます

【札幌】平成29年12月9日(土)・10日(日)
9:00～11:30 / 13:00～17:00
アリオ札幌(札幌市東区北7条東9丁目)

【室蘭】平成29年12月9日(土)
10:00～12:00 / 13:30～16:30
MORUE中島(室蘭市中島本町1丁目4)

【旭川】平成29年12月3日(日)
9:30～16:00
イオンモール旭川西(旭川市緑町23丁目)

【釧路】平成29年12月10日(日)
9:30～12:00 / 13:30～16:30
イトーヨーカドー釧路店(釧路市新橋大通6丁目2)

【函館】平成29年12月9日(土)
9:30～16:30
函館昭和タウンプラザ(函館市昭和1丁目29番)

苦しんでいる人を救いたい

～12月はNHK海外たすけあい～

紛争や災害などで苦しむ世界の人々に支援の手を差し伸べる「NHK海外たすけあい」が今年も12月1日から25日までの期間に行います。

昨年は、みなさまからの寄付をもとに、中東(シリア、イラク等)の紛争犠牲者への支援など50以上の国や地域へ支援を行いました。

お近くの郵便局、北洋銀行、北海道銀行、JAバンク、マリンバンクなどからお振込みいただけますので、今年も、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



©JRCS
バングラディッシュでの活動

発行日 平成29年12月1日

発行元



日本赤十字社 北海道支部
Japan Red Cross Society

札幌市中央区北1条西5丁目
Tel: 011-231-7126



公式フェイスブックで情報発信中!
<https://www.facebook.com/hokkaido.jrc>



ホームページで

日赤北海道

検索

www.hokkaido.jrc.or.jp/